

お子さんが上手に薬を  
のめるようになるために



子ども達に「**勇気**、**夢**として**笑顔**」を

# お子さんが上手に薬をのめるようになるために

お子さんの病気に一番適した量と使い方が指示されています。  
きちんと守ってのみましょう。



WANPUG

## どんな方法でのむのがいいの？

粉薬は、薬を少量の水に溶かし、スプーンやスポイトなどを使って少しずつ口の中に流し込むか、薬を数滴の水で練ってクリーム状にし、口の中（ほっぺたの裏側や上あごなど）に塗布し、そのあと湯冷ましやミルクなどを与えてください。

薬をたくさんの量の水で溶かしてしまうとのみ残すことがあるので、溶かすときは少量の水にしましょう。



一度使用したスポイトはそのまま次回に使用せず、毎回温湯などで洗い、そのあとよく乾かしてください。

水薬は泡が立たない程度に軽く振ってから1回分を計量してください。



錠剤やカプセルがのめない場合は、主治医や薬剤師にご相談ください。

ミルクの中に直接薬を入れるのはやめましょう。薬の味のためにミルクが嫌いになったり、のみ残す場合があります（新生児は差し支えありません）。



薬が苦い場合には、砂糖やシロップで甘味をつけてもかまいません。市販の服薬補助ゼリーなどが有効な場合もあります。※ただし、1歳未満のお子さんにはハチミツを使用しないでください。



ジュースや乳酸菌飲料、スポーツドリンクなどで薬を溶かすと薬の苦みが強くなったり、薬そのものが変化する場合があります。



できるだけのみやすい方法をお子さんと一緒に考えましょう。困ったときは薬剤師にご相談ください。

お子さんが薬の必要性を理解し、納得してのめるように、やさしく、ていねいに伝えることが大切です。

## いつのむのがいいの？

### 主治医の指示通りのませましょう



WANPUG



赤ちゃんの場合、哺乳後だとミルクでお腹がいっぱいになり、薬を飲まなくなる場合があります。そのようなときは、先に薬を与えてからミルクを飲ませるようにしましょう。



学校への登校などのために指示された飲み方ができない場合は、主治医に相談してください。

たとえば『食後服用』と指示されていても、食後以外にのんでも問題のない薬も多くあります。また、ミルクや食事を摂らなくても時間を決めてのむことが必要な場合もあります。分からないことがあれば、主治医や薬剤師にご相談ください。

## 保管に注意しましょう

光や湿気をさけ、涼しい場所で缶などに入れて保管してください。



「冷蔵庫保存」など、保管方法に指示がある場合は必ず守ってください

お子さんが間違っのまないように、お子さんの手の届かないところに保管してください。



WANPUG

何か気になることがありましたら、すぐに  
主治医または薬剤師に連絡してください



地方独立行政法人 大阪府立病院機構  
大阪母子医療センター

<薬 局>

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町840

患者支援センター TEL 0725-56-1220

FAX 0725-56-5605